

---

# 私の神様

春風

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私の神様

### 【Nコード】

N0083BA

### 【作者名】

春風

### 【あらすじ】

私のカミサマは、私の全て

大きな背中、無口で無表情で、けどとても優しく私の頭を撫でる、そんな人

神様が生きる道を教え示す存在というなら、間違いなく私にとっての神様だ

長編になるかも知れない、そんな話

私の神様は、大きな人だ

無口で無表情で、でも、優しく私の頭を撫でる、私の世界の中心

私はタジールという国の石牢に産まれてすぐ、閉じ込められた。

私の右眼と髪は色がなく、異端者として神の加護が無くなる10迄石牢に閉じ込められ、その後は処理される、そういう運命だった。

生きるということすら良くわかつてはおらず、痛い思いをするのが嫌だから（今、思えば）残飯と呼んで可笑しくないようなモノを口に入れ、初めは飲めば直ぐ腹を下すような水を飲み、変わることはない冷たい天井を見上げて、在る日々が9年と11ヶ月

神様とは、あと少して10になる、そんな日に突然出会った

神様は、タジールの隣国、ユスハの近衛隊長で、私を処理する為、ほんの少し手薄になった警備を破り、ものの三日で鬼神使いの国、タジールを陥落させた

今でも覚えている

冷たい天井を見上げていたら、何時も私に痛い事をしてくる人が入

つてきて、何時ものように私を壁に押し付け痛い事をしてきた

何度やられたか、気付いたらその人の背後に、神様が立っていたのだ  
そうして、私が気付いて間もなく痛い事をしてくる人が倒れ

私は神様の腕の中だった

「――」

神様が何か言っていたが、当時私は言葉を理解しておらず、首を傾  
げるだけだった

そんな私を見下ろし、神様は今度はふわりと微笑んだのだ

歪んだ顔しか見たことが無かった私

ふわりと微笑んだその人は、歪んだ顔しか知らない人と同じとは思  
えず、神様だと信じた

神様、ジル様は本当に神様みたいな人だ

ユスハに戻ったジル様は、タジールを陥落させた褒美に私を救って  
ほしいと王様に願い出た

王様に仕えて以来、何も褒美を望まない無欲な男が初めて望んだそ  
の意外な褒美に王様は驚き、甲斐甲斐しく世話をする様子に更に驚  
いた、と私が言葉を理解する頃訪ねてきた王様が笑いながら教えて  
くださった

神様が生きる道を教え示す存在というなら、私にとってジル様は間違いなく神様だ

温かいスープを下さり、温かい風呂に入れてもらい、柔らかな服を着せて、私に言葉を教え、常識を教えて下さるジル様

何時か役に立つことを夢見て、ぎこちなく言の葉を操り今日も私は生きるのだ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0083ba/>

---

私の神様

2011年12月31日03時50分発行